

ロンドン、2018年11月20日

中国の日照宝華から連続熱間スキンパスミル&テンションレベリングラインを受注

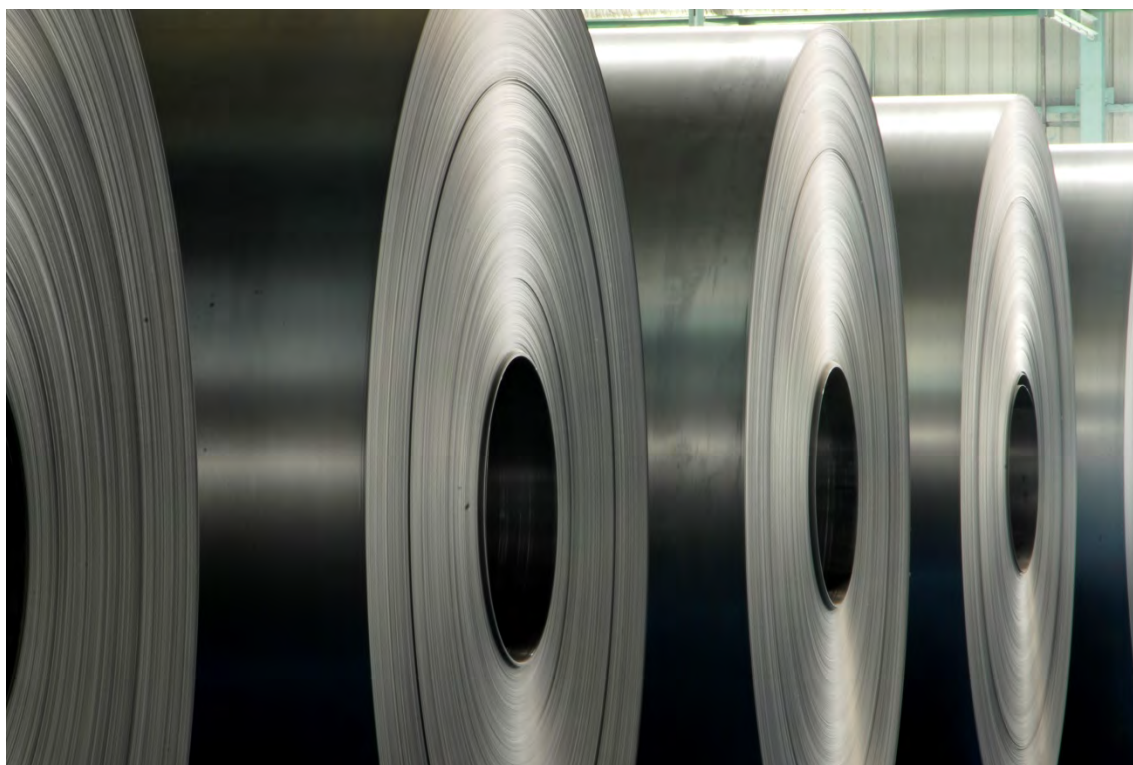
- 建設および鋼管メーカー向けに年産能力120万トンを実現
- 優れた平坦度を持つ熱延コイルが生産可能
- 統合ソリューションで生産性、製品品質、設備稼働率の確実な管理

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、中国の鉄鋼メーカーである日照宝華新材料有限公司（Rizhao Baohua New material Co., Ltd：日照宝華）から連続熱間スキンパスミル及びテンションレベリングライン（Continuous Hot Skin Pass Mill:CHSPM）を受注しました。熱延（黒皮）コイルを加工して優れた平坦度とし、下流工程での建設および鋼管メーカー向け鋼管加工と溶接を容易にすることを目的とした新ラインは山東省日照市にある同社工場に納入されます。CHSPMラインは年間120万トンのコイル処理能力で設計されており、2019年2月に稼働開始予定です。完全統合された設備と自動化ソリューションにより、日照宝華は生産性、製品品質、稼働率を確実に管理し、収益性向上を実現します。

本ラインは、大重量の熱延コイル処理用に設計されており、2本のコイルを装入可能な入側セクション、6ストランド式横型ルーパー、最大圧延荷重1,500トンのスキンパスミル、最大張力60トンのテンションレベラー、検査設備、出側セクションとコイル搬出システムからなっています。このラインでは厚さ0.6~4ミリメートル、幅900~1,600ミリメートルの鋼板を毎分370メートルの速度で処理し、コイルの最大重量は35トンです。

当社は、熱延コイルの処理に特化したCHSPMラインのエンジニアリング、装置製造、互換性のある駆動機器及び自動化技術の供給、試運転を担当します。すべての設備は当社のプロセスラインソリューションに基づいて実証されており、優れた平坦度と出側鋼板の目標表面粗度を実現し、最小限のダウンタ

イムで効率的な稼働をするよう設計され、トン当たりコストを削減します。また、ソリューション全体の最適化により、日照宝華が担当する土木関連工事のコストも削減されています。



スキンパス処理された熱延コイル

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメ

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018111593jp

ンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com